

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
32122	子規記念博物館管理運営事業	教育委員会事務局	子規記念博物館	2
32122	子規記念博物館企画展示事業	教育委員会事務局	子規記念博物館	3
32122	子規記念博物館資料購入手業	教育委員会事務局	子規記念博物館	4
32122	子規記念博物館改修事業	教育委員会事務局	子規記念博物館	5

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	教育委員会事務局	課等名	子規記念博物館	担当G	博物館管理運営担当	連絡先	931-5566	
部長等名	横山 憲	課等長名	大石 和可子	リーダー	越智 文子	担当	山口 雅士	今西 由季

1.事業概要【Plan】

事業名	子規記念博物館管理運営事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
32122								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	-	○	○	
施策	選ばれる都市づくり							
主な取組	「ことば」文化の内外発信		根拠法令	松山市立子規記念博物館条例				
取組みの柱	子規記念博物館の活用							
目的・背景	松山市立子規記念博物館は、正岡子規の世界をとおり、より多くの人々が松山に親しみ、松山の伝統文化や文学についての認識と理解を深め、新しい文化の創造に役立てることを目的として開設された文学系の博物館である。 適切な管理運営を行うことで、利用者に安全かつ快適に利用していただくとともに、より多くの人々に子規や文学の魅力に触れていただくことを目的としている。							
対象・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子規記念博物館の管理運営に指定管理者制度を導入し、民間業者の持つ知識と経験を活用して、館の活性化と利用者サービスの向上を図っている。 ・子規顕彰全国俳句大会、子規顕彰全国短歌大会等の各種大会を開催する。 ・「はがき歌」全国コンテスト、へちまコンテスト、ふるさと松山「新春子規さん俳句かるた大会」等の各種イベントを開催する。 ・各種大会やイベントなどとおして、子規の業績等を顕彰するとともに、松山の文化振興に寄与する。 ・株式会社レスパスコオペレーションへ指定管理料を支出。 							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	子規記念博物館費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	159,389	174,006	159,138		主な経費 (千円) 【R5 決算】	指定管理料		131,459
	国費・県費	0	0	0			友の会への事務委託料		11,111
	市債	0	0	0			「まつやま子規亭」開催負担金		8,538
	その他	15,317	15,493	17,506					
	一般財源	144,072	158,513	141,632					
決算 (千円)	事業費計	158,253	156,859			主な取組 内容 【R5】	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理 ・子規顕彰全国俳句大会 ・子規顕彰全国短歌大会 ・子規顕彰松山市小中高校生俳句大会 ・「はがき歌」全国コンテスト ・SNS等を活用した情報発信 		
	国費・県費	133	0						
	市債	0	0						
	その他	12,435	13,065						
	一般財源	145,685	143,794						
	(執行率)	99%	90%						
人役	正規職員	3.0	3.0	4.0		特記 事項			
	その他	3.0	3.0	2.0					
	合計	6.0	6.0	6.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	イベント・講座等の 実施回数	目標	26	26	26	26	予定していた回数以上のイベント等が実施できた。	
		実績	29	29				
	現状維持	回	達成率	111.5%	111.5%			
成果 指標	入館者数	目標	120000	120000			施設の改修工事により一部の利用に制限があるものの、開館しながら工事を実施し、令和4年度と比較して来館者数が増加した。	
		実績	73880	91928				
	現状維持	人	達成率	61.6%	76.6%			
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	成果指標である入館者数は、目標を下回ったものの、活動指標であるイベント・講座の実施回数は目標を達成することができた。また、指定管理者が新たな自主事業を実施したり、SNSでの情報発信を継続するなど、当該事業の目的である館の活性化を概ね達成することができたため。						
課題	令和6年11月までの大規模改修工事による影響があるが、入館者数の回復のため、SNSを活用した情報発信や道後地区との連携など、複合的に取り組んでいく必要がある。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	事業の目的である館の活性化のためには、入館者数の増に向けた取り組みを継続していく必要があるため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	教育委員会事務局	課等名	子規記念博物館	担当G	博物館企画展示担当	連絡先	931-5566	
部長等名	横山 憲	課等長名	大石 和可子	リーダー	平岡 瑛二	担当	徳永 佳世	小泉 柚乃

1.事業概要【Plan】

事業名	子規記念博物館企画展示事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32122								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	-	-	○	
施策	選ばれる都市づくり							
主な取組	「ことば」文化の内外発信		根拠法令	松山市立子規記念博物館条例				
取組みの柱	子規記念博物館の活用							
目的・背景	子規記念博物館は、子規資料を柱に、文学や郷土に関わる資料を収集保管するとともに調査研究を行い、その成果を博物館活動として提供する施設として開館した。開館にともない、常設展の維持管理や特別展等の開催、機関誌の発行、収蔵資料の保全・管理が必要とされたため、現在の本事業に相当する業務を開始した。本事業では、正岡子規の一生を紹介する常設展を維持管理し、特別展等を企画・開催する他、資料の調査・研究成果を機関誌「子規博だより」で発信し、子規や松山の歴史・文化の魅力を発信する。また資料レプリカの製作、資料修復の実施、備品購入や収蔵環境の整備等により収蔵資料の保全を図ることを目的とする。							
対象・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子規の一生を紹介する常設展の維持管理、展示替え(特別展示、特集コーナー等) ・子規や近代文学、松山の歴史文化に関連した特別企画展の開催(年1回)、及び関連テーマでの記念講演の開催 ・収蔵資料を活用した特別展の開催(年2回) ・博物館の活動や調査研究成果を発信する機関誌「子規博だより」の発行(年3回:6月・12月・3月) ・資料の修復、資料の燻蒸作業 ・資料保存及び調査研究に必要な備品等の購入 							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	子規記念博物館費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	10,010	9,930	10,060		主な経費 (千円) 【R5 決算】	特別企画展の資料輸送等委託料		2,296
	国費・県費						特別企画展のディスプレイ等制作委託料		975
	市債						春季特別展の展示パネル等制作委託料		438
	その他								
	一般財源	10,010	9,930	10,060					
決算 (千円)	事業費計	8,389	8,663			主な取組内容 【R5】	・ドナルド・キーンの子規研究をテーマとした第69回特別企画展「ドナルド・キーンのみた「正岡子規」―俳句革新者の探究―」、及び収蔵資料を活用した特別展の開催。 ・機関誌の発行や収蔵資料の修復。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	8,389	8,663						
	(執行率)	84%	87%						
人役	正規職員	2.0	2.0	3.0		特記事項			
	その他								
	合計	2.0	2.0	3.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	特別展・特別企画展の関連イベントの実施回数	目標	11	11	11	11	予定していた特別展・特別企画展の関連イベントをすべて実施することができた。	
		実績	11	11				
	現状維持	回	達成率	100%	100%			
成果指標	特別展・特別企画展の入場者数	目標	8000	8000			令和2～3年度に比べて大幅な回復傾向にあるものの、目標を達成できなかった。	
		実績	4259	6449				
	現状維持	人	達成率	53.2%	80.6%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	特別展・特別企画展の入場者数の目標は達成できなかったが、展示内容については新たな視点や最新の研究成果を盛り込み分かりやすい展示方法を工夫することで、来場者アンケートで好評を得ることができたため。また機関誌の発行、資料修復等その他の業務も予定通り実施することができたため。						
課題	常設展が来館者にとってより興味深く親しみやすい展示となるよう、令和6年度に常設展2階部分を中心にリニューアルを行い、一部の展示や映像機器を新設する。			今後の方向性	現行のまま継続		左記の理由	常設展や特別展等が来館者にとって目新しく効果的な展示となるよう、引き続き収蔵資料や展示手法の研究・検討を行うことが必要となるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	教育委員会事務局	課等名	子規記念博物館	担当G	博物館企画展示担当	連絡先	931-5566	
部長等名	横山 憲	課等長名	大石 和可子	リーダー	平岡 瑛二	担当	徳永 佳世	小泉 柚乃

1.事業概要【Plan】

事業名	子規記念博物館資料購入事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32122			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			-	-	-	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							
施策	選ばれる都市づくり							
主な取組	「ことば」文化の内外発信		根拠法令	松山市立子規記念博物館条例				
取組みの柱	子規記念博物館の活用							
目的・背景	子規記念博物館では、開館に先立つ昭和52年度から松山市教育文化施設資料購入基金を用いた資料の購入を行っている。博物館の責務である関連資料の収集のため、開館後も引き続き館の活動に必要な資料を購入する本事業が実施されている。本事業では、当館の活動に不可欠であり、広く市民の理解を得ることのできる資料等を購入し、資料の保全と次世代への継承を図るとともに、常設展や特別展・特別企画展で公開し、子規記念博物館への誘客を図ることを目的とする。							
対象・内容	正岡子規に関する資料、正岡子規に直接関係する者に関する資料、正岡子規を生み育てた文化的土壌に関する資料等を対象として、松山市の文化行政を推進する上での必要性について詳細な調査を行い、子規記念博物館での今後の調査研究・展示活動に必要な不可欠な資料を、松山市教育文化施設資料購入基金により購入する。基金による購入があった年度には、購入経費を一般会計から基金へ振り替える。							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	子規記念博物館費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】			
予算(千円)	事業費計	30,000	0	0					
	国費・県費								
	市債								
	その他	30,000							
	一般財源								
決算(千円)	事業費計	30,000	0			主な取組内容【R5】	・子規を中心とする収集対象資料の調査、情報収集等。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	30,000							
	一般財源								
	(執行率)	100%	0%						
人役	正規職員	2.0	2.0	3.0		特記事項	・令和5年度は資料購入の実績なし。		
	その他								
	合計	2.0	2.0	3.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	収集対象資料の調査	目標	-	1	1	1	収集対象となる資料の調査を実施することができた。	
		実績	-	1				
	現状維持	件	達成率	-	100%			
		目標	-	-				
		実績	-	-				
		達成率	-	-				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	正岡子規資料を中心として、当館の収集対象となる資料の調査を行うことができたため。						
課題	今後も資料購入を検討すべき案件があれば、関係する要綱・要領の規定に基づき、収集対象資料の調査及び審査を適正に行う。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	今後も博物館活動に必要な不可欠な資料を収集する活動を継続する必要があるため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	教育委員会事務局	課等名	子規記念博物館	担当G	博物館管理運営担当	連絡先	931-5566	
部長等名	横山 憲	課等長名	大石 和可子	リーダー	越智 文子	担当	山口 雅士	

1.事業概要【Plan】

事業名	子規記念博物館改修事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)		
32122			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			-	-	-	-		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する								
施策	選ばれる都市づくり								
主な取組	「ことば」文化の内外発信		根拠法令						
取組みの柱	子規記念博物館の活用								
目的・背景	松山市立子規記念博物館は、昭和56年の開館から40年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、今後も入館者に安全で快適な環境を提供し、正岡子規の研究・顕彰の拠点として活用していくため、大規模改修を実施するものである。								
対象・内容	令和5年度から令和6年度に大規模改修を行う。								

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	子規記念博物館費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	工事請負費		100,400
予算(千円)	事業費計	40,000	580,000	870,816					
	国費・県費	0	0						
	市債	36,000	522,000	781,700					
	その他		58,000	88,300					
	一般財源	4,000		816					
決算(千円)	事業費計	31,386	100,415			特記事項	施設改修費を繰越したため		
	国費・県費								
	市債	27,600	90,300						
	その他		10,100						
	一般財源	3,786	15						
	(執行率)	78%	17%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0					
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	実施設計の進捗率	目標	100	-	-	-	開館しながらの工事のため、会議室等の利用状況等を考慮しながらスケジュールを調整する必要があったため。	
		実績	100	-	-	-		
	現状維持	%	達成率	100%	-	-		-
活動指標	改修工事の進捗率	目標	-	40	100	100	開館しながらの工事のため、会議室等の利用状況等を考慮しながらスケジュールを調整する必要があったため。	
		実績	-	36	-	-		
	累計で増	%	達成率	-	90	-		-
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	当初の目標進捗率には僅かに届かなかったものの、今後の工程で調整可能な範囲であるため。						
課題	利用者への改修工事の影響を最小限に抑えつつ、着実に工事を進めていくため、工事業者や学習施設課と連携し、スケジュール等を調整していく必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	改修工事を完了させる必要があるため。	